様式２

 様

子宮頸がん検診結果について

年　　月　　日に実施した子宮頸がん検診の結果をお知らせいたします。

**精密検査不要**　　➣　今回の子宮頸部擦過細胞診の結果、異常は認められませんので、

さらに詳しい検査を行う必要はありません。

・ただし、細胞診ですべての子宮頸がんを発見することはできません。今回の検査で

異常がなくても、不正出血などの自覚症状があった場合は、すぐに直接医療機関

（婦人科専門）にご相談ください。

・また、症状がなくても２年に１度は必ず検診を受けましょう。

○特記事項

１．特記事項なし

　２．（　　　　　　　　　　　）が疑われますので、婦人科専門医に相談してください。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（担　当）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　課　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　TEL

　様式３

再検査用

 様

子宮頸がん検診結果について

年　　月　　日に実施した子宮頸がん検診の結果をお知らせいたします。

　（　　　　　　　　　　）ですので（　　　　　）ヶ月後に再検査を受けてください。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（担　当）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　課　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　TEL

　様式４

　　　　　　　　　　　　様

子宮頸がん検診結果について

年　　月　　日に実施した子宮頸がん検診の結果をお知らせいたします。

**要精密検査**　　➣　今回の子宮頸部擦過細胞診の結果、さらに詳しい検査が必要です。

・子宮頸部の細胞診により異常を認めますので、できるだけ早く精密検査を医療機関

（精密検査の可能な婦人科のある医療機関）で受けてください。自覚症状がない子宮

頸がんもありますので、**自覚症状がなくても必ず精密検査を受けてください。**

精密検査について

　・精密検査の方法は、コルポスコピー（膣拡大鏡診）、組織検査やヒトパピローマウィルス検査

などがありますが、その方法は、悪性の可能性の有無により選択されます。

　・要精密検査となった方の中で、がんが発見される確率は約２％です。

　　※厚生労働省「平成27年度地域保健・健康増進事業報告」参考

精密検査の際には以下のものを忘れずにご持参ください。

　①子宮頸がん検診結果について（本状）

　②子宮頸がん検診受診票

　③返信用封筒（精密検査結果報告書在中）

　④健康保険証

　　年　　月　　日

　実施機関の長　様

市町村長　　印

子宮頸がん精密検査依頼書

　本書持参の上記の方は、子宮頸がん検診の結果、子宮頸部の精密検査を要すると思われますのでよろしくお願いします。

　なお、要精密検査者の追跡調査を行っておりますので、お手数ながら別添報告書に所定の事項をご記入の上、ご送付くださいますようお願いします。